

## 〔臨床報告〕

# 胡椒の増量剤として含まれていたソバ粉により アナフィラキシー症状を呈した1例

日本医科大学皮膚科学教室

弓削真由美    新見やよい    川名誠司

**Key words** : anaphylaxis — buckwheat allergy — pepper

## はじめに

ソバアレルギーは微量の摂取でも、喘息発作やショック症状を引き起こし、生命にかかわることがある。今回、我々は業務用の胡椒の中に増量剤として無表示のまま添加されていたソバ粉が原因物質と判明した食物アレルギーの1例を経験した。

## 症 例

患者：18歳，女性（ID 95195436）

初診：1997年4月27日

既往歴：1歳時，ソバ屋のうどんを食べ咳込む。7歳時，ソバを食べた30分後に蕁麻疹，喘息発作が出現。その他，外食のラーメン等摂取後，咽頭腫脹感，口唇の腫脹を数回経験している。

家族歴：父に喘息，妹に蕁麻疹，父方の叔母にアトピー性皮膚炎。

現病歴：外食で中華料理のコースを食べている途中から口腔内，口唇周囲に瘙痒感，口唇の腫脹，咽頭腫脹感が出現した。徐々に悪心，眩暈，呼吸困難，全身に蕁麻疹が出現したため当科を受診した。

治療と経過：受診時，症状発現より1時間以上経過し，重篤な呼吸困難，血圧低下はなく，ベタメタゾンの皮下注および内服により，2時間後に症状は軽快し

た。

臨床検査所見：血液一般，生化学，尿所見に異常を認めない。

食物アレルギーの検索：食物アレルギーを疑い，原因検索のため直前に食べた食事の材料と調味料を調べたところ，Table 1の通りであった。これらのプリックテストでは胡椒のみが陽性であった（Fig. 1）。この胡椒の組成を販売元に問い合わせたところ，胡椒と称する製品にソバ粉が含まれていることが確認できた（Table 2）。ソバアレルギーの既往があるため，まずソバ粉以外の材料のプリックテストを施行したが結果は全て陰性であった。ソバ粉のプリックテストは患者の協力が得られず施行できなかった。

特異的IgE：ソバにclass 4の陽性所見を得た。中華料理の材料である小麦，大豆，米，牛乳，卵白，卵黄，鶏肉，豚肉，牛肉，エビ，ニンニク，玉葱，タケノコは陰性であった。

ソバ粉のプリックテストは施行できなかったが胡椒で陽性で，その成分はソバ粉以外はすべて陰性であったこと，ソバの特異的IgEが陽性であることより，胡椒の中に含まれたソバ粉による食物アレルギーと診断した。

## 考 案

本症例は，中華料理の調味料として使用した胡椒に含まれていたソバによってアナフィラキシー症状を発症した1例である。我々は，過去に，外食のサラダに用いた胡椒に含まれていたソバによって同様のアナフィラキシー症状を呈した症例を経験している<sup>1)</sup>。どちらもソバアレルギーの既往はあるものの，その食事内容からは当初，ソバが原因である可能性は考えられ

Received : December 29, 2000

Accepted : May 21, 2001

**A CASE OF ANAPHYLAXIS CAUSED BY BUCKWHEAT AS AN ADDITION CONTAINED IN PEPPER**

Mayumi Yuge, Yayoi Niimi and Seiji Kawana

Department of Dermatology, Nippon Medical School

Table 1 Materials and seasonings in the chinese food

| Material                     |               |        | Seasoning             |
|------------------------------|---------------|--------|-----------------------|
| cabbage,                     | ginger plant, | pork   | salt                  |
| shiitake mushroom,           | roast pork    | leek   | pepper                |
| arrowhead,                   | spring onion, | egg    | soysauce              |
| bamboo shoot,                | onion,        | beef   | soybean oil           |
| pimiento,                    | boiled rice,  | crab   | chicken soup          |
| green beans,                 | shark's fin,  | garlic | thickbroad-bean souce |
| wrapping of chinese ravioli, | prawn         |        | oyster souce          |
|                              |               |        | ketchup               |

なかった。今回の症例では、まず、実際に食事した材料と店で使用した調味料をプリックテストしたところ、調味料中の胡椒で陽性となった。胡椒の販売元は、前回と同じ会社であった。その会社に問い合わせたところ、胡椒という名称で業務用に広く使用されている製品が実は純粋な胡椒ではなく、胡椒の他に数種の添加物を含有していることがわかった。ソバ粉はコストが安く、風味がよいという理由から増量剤の目的で、無表示のまま製品に使用されているとのことであった。胡椒の成分別プリックテストの結果、ようやく胡椒に含まれるソバ粉が原因であることが判明した。

食物アレルギーの侵入経路は一般には経口的だが、ソバアレルギーは抗原が経口的、経気道的にどちらの侵入経路でも発症し、微量の摂取でも時に喘息発作やショック症状の様な即時反応を引き起こし生命にかかわることがある。

ソバアレルギーの症状は蕁麻疹が37.3%と最も多く、次いで皮膚掻痒(33.3%)、喘鳴(26.5%)と続き、アナフィラキシーショックも3.9%に認められる。卵アレルギー、牛乳アレルギーと比較すると皮膚症状はほぼ同頻度だが、喘息、呼吸困難などの気道症状、腹痛、嘔吐、下痢などの消化器症状はそれぞれ3.1倍、9.4倍と高率<sup>2)</sup>である。

ソバを含む製品にはそばきり、そばだんご、そば饅頭、そばがき、そばほうろ、そば焼酎、そば茶、そば殻の枕など、明らかにソバと名のつくもの以外にビスケット、蜂蜜、ふりかけ、天ぷら粉などもあり<sup>3)4)</sup>、また、今回の調味料のように一見、ソバを含むとは思えない食品を患者が知らずに摂取してソバアレルギーをおこすことがある。中村<sup>3)</sup>はソバアレルギーの予防はソバへの暴露の機会をなくすことが最も確実であるとしている。

2001年4月より、卵、乳・乳製品、小麦、ソバ、落

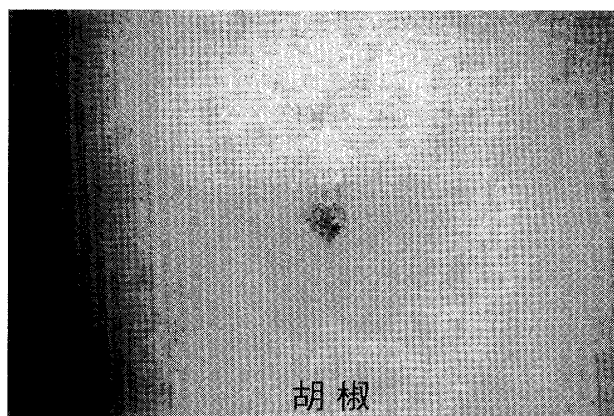


Fig. 1. Prick test.

The reaction against pepper used in chinese food is positive.

Table 2 Materials contained in the pepper

|                                   |
|-----------------------------------|
| buckwheat                         |
| black pepper, white pepper        |
| bean-curd refuse, skimmed soybean |
| dried old orange peel             |
| flour, cayenne pepper             |

花生の5品目については、これらの食品を原材料に使った加工食品に、その表示が義務づけられた。しかし、それでも外食や調理済みの食品については患者が知らずにソバを摂取する可能性が残る。徹底的にソバを避けるためには、極力、外食をしないことと、やむを得ず外食をする場合は、店側に使用した加工食品や調味料にソバが含まれていないかを事前に確認することが必要である。

その後、この胡椒を製造した会社にソバを胡椒に添加しないように説得したが、会社担当者は、「ソバ粉に

変わる食品がなく、わずかなソバアレルギーの人のために製造ラインを変えることは経済的負担が大きい「ため難しい」との理由で拒否した。しかし、たとえわずかな人数とはいえ、ソバアレルギーは生命にかかわる可能性も大きく、より積極的な対策が必要であり、今後に課題を残す結果となった。

本論文の要旨は第64回日皮会東京支部学術大会で発表した。

#### 文 献

- 1) 二神綾子, 新見やよい, 青木見佳子, 畑三恵子,

矢島 純, 他: 原因検索が非常に困難であったそばアレルギーの1例. 皮膚臨床 **39**, 1347-1350, 1997.

- 2) 高橋由利子, 市川誠一, 相原雄幸, 横田俊平: 横浜市の小学生9万人を対象としたそばアレルギー罹患率調査—養護教諭へのアンケートから—, アレルギー **47**, 26-33, 1988.
- 3) 中村 晋: そばアレルギーにおける shock そして死—予防対策を含めて—, アレルギーの臨床 **12**, 728-733, 1992.
- 4) Smith, H.L.: Buckwheat-poisoning—with report of a case in man. *Arch. Int. Med.* **3**, 350-359, 1909.